

白馬村地域公共交通総合連携計画の変更に伴う新旧対照表

資料 4-3

第1回変更(案)	当初
目次 頁を修正	目次
<p>P1</p> <p>1. はじめに</p> <p>(2) これまでの取り組み (14行目まで省略)</p> <p>平成19年度は、「元気号夏物語」「元気号冬物語」の期間限定による運行、平成20・21年度は、「元気号冬物語」を期間限定により運行しており・・・</p>	<p>P1</p> <p>1. はじめに</p> <p>(2) これまでの取り組み (14行目まで省略)</p> <p>平成19年度は、「元気号夏物語」「元気号冬物語」の期間限定による運行、平成20年度は、「元気号冬物語」を期間限定により運行しており・・・</p>
<p>P2</p> <p>2. 地域公共交通の現状</p> <p>(1) 公共交通機関</p> <p>②乗合バス事業者</p> <p>イ 川中島バス株式会社</p> <p>ロ 川中島バス株式会社</p>	<p>P2</p> <p>2. 地域公共交通の現状</p> <p>(1) 公共交通機関</p> <p>②乗合バス事業者</p> <p>イ 松本電気鉄道株式会社</p> <p>ロ 川中島バス株式会社と松本電気鉄道株式会社の共同運行</p>
<p>P5</p> <p>(2) 本村が行う交通支援施策</p> <p>②移送サービス事業</p> <p>イ. 事業導入の経過 (8行目中段まで略)</p> <p>本村の移送サービス事業もこの制度を活用し、総事業費から利用料収入を差し引いた金額の4分の3(国:2分の1、県:4分の1)の補助を受けてきたが、国の三位一体の改革による影響から平成16年度をもって打ち切れ、以降一般財源のみで実施している。<u>なお、本事業は平成22年3月をもって廃止し、4月からNPO法人等による福祉運送サービスが提供できるよう、NPO法人等の福祉有償運送の必要性等について協議するための白馬村福祉有償運送運営協議会を設置した。</u></p>	<p>P5</p> <p>(2) 本村が行う交通支援施策</p> <p>②移送サービス事業</p> <p>イ. 事業導入の経過 (8行目中段まで略)</p> <p>本村の移送サービス事業もこの制度を活用し、総事業費から利用料収入を差し引いた金額の4分の3(国:2分の1、県:4分の1)の補助を受けてきたが、国の三位一体の改革による影響から平成16年度をもって打ち切れ、以降一般財源のみで実施している。</p>
<p>P8</p> <p>3-1. 公共交通における村民意識(高齢者)</p>	<p>P8</p> <p>3. 公共交通における村民意識</p>

第1回変更(案)	当初																																				
<p>P15～16 3-2. 公共交通における村民意識(中学生・高校生)</p> <p>(1) 調査の概要</p> <p>①調査目的 中学生、高校生の通学の実態を把握し、抱えている課題を明確化すると共に、公共交通システムでの対応方法を検討する材料を把握する。</p> <p>②調査対象 白馬中学校・白馬高等学校生徒</p> <p>③回答者 生徒の保護者</p> <p>④調査期間 平成21年7月15日(水)～7月22日(水)</p> <p>⑤調査項目 ○通学の学校名 ○お住まいの地区名 ○主要な交通手段(電車通学の方は最寄りの駅までの交通手段) ○電車で通学される方の通常乗り降りする駅(電車の利用時間) ○家を出る時間 ○帰宅時間 ○通学時の不安 ○通学時に合わせた公共交通システム利用 ○利用料金 ○「元気号冬物語」の認知度と利用度 ○公共交通システムについての意見・要望</p> <p>(2) 調査の結果</p> <p>①アンケート回収状況 :</p> <table border="1" data-bbox="210 1018 1095 1171"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>配布数</th> <th>回収数</th> <th>回収率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白馬中学校</td> <td>263</td> <td>144</td> <td>54.8</td> </tr> <tr> <td>白馬高等学校</td> <td>77</td> <td>33</td> <td>42.9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>340</td> <td>177</td> <td>52.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(複数回答があるものに関しては複数回答ありと記述し、数値に反映させた。)</p> <p>②質問に関する回答状況</p> <table border="1" data-bbox="145 1243 1113 1425"> <thead> <tr> <th>1. 通っている学校等をお答えください。</th> <th>サンプル別</th> <th>配布数</th> <th>回収数</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1. 中学</td> <td>263件</td> <td>144件</td> <td>54.8%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2. 高校</td> <td>144件</td> <td>33件</td> <td>42.9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>340件</td> <td>177件</td> <td>52.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	配布数	回収数	回収率(%)	白馬中学校	263	144	54.8	白馬高等学校	77	33	42.9	合計	340	177	52.1	1. 通っている学校等をお答えください。	サンプル別	配布数	回収数	回収率		1. 中学	263件	144件	54.8%		2. 高校	144件	33件	42.9%		合計	340件	177件	52.1%	なし
区分	配布数	回収数	回収率(%)																																		
白馬中学校	263	144	54.8																																		
白馬高等学校	77	33	42.9																																		
合計	340	177	52.1																																		
1. 通っている学校等をお答えください。	サンプル別	配布数	回収数	回収率																																	
	1. 中学	263件	144件	54.8%																																	
	2. 高校	144件	33件	42.9%																																	
	合計	340件	177件	52.1%																																	

第1回変更(案)				当初
2. お住まい地区名を教えてください	サンプル別	1	2	3
	1. 中学	白馬町区 17	みそら野区 15	飯田区 飯森区各 10
	2. 高校	みそら野区 9	白馬町区 5	飯田区 5
3. 学校へ行く際の主要な交通手段は何を利用していますか	<p>中学生は、「自転車」が40%、「歩き」が28%と自力手段が約7割の数値であった。また「家族が自家用車で送る」18%と高い数値である反面「JR利用」が14%と低い数値であった。</p> <p>高校生は、「自転車」が57%、「歩き」が10%と自力手段が約7割の数値であった。また「家族が自家用車で送る」15%、「JR利用」が15%と同数値であり、中学生、高校生とも同じ様な傾向であった。</p>			
(電車通学の方は最寄りの駅までの交通手段をお答えください)	<p>JR利用者は中学生が75%、高校生が100%の数値で「歩き」と回答し、「自家用車で駅まで送る」が中学生21%あった。</p>			
4. 電車で通学される方の通常乗り降りする駅はどちらですか	<p>JR利用者は南神城駅、神城駅、飯森駅と神城地域内での利用がほとんどであり、森上駅利用者はいなかった。</p>			
(また電車の時間について、ご記入ください)	<p>行きの乗車時間については、神城地域中学生、高校生とも6時49分、8時1分白馬駅着の利用が100%であった。</p> <p>帰りの降車時間について中学生は、「16時、17時、18時、19時台」がそれぞれ約4分の1の数値、高校生は「16時台」が7割弱であった。</p>			
5. 登校するために家を出られるのは何時頃ですか	<p>中学生は、「6時30分から7時」28%、「7時から7時30分」26%、「7時30分から8時台」38%と部活動、登校時間により6時30分以降8時までに家を出るが併せて92%となっている。また高校生では「7時30分から8時台」が42%、「8時以降」が52%と近距離通学の特徴を示していた。</p>			

第1回変更(案)		当初
6. 帰宅するのは何時頃ですか	帰宅時間としては、中学生が「18時から19時台」が56%、高校生が「19時台以降」が31%と比較的大きな数値であったが、部活動等多様となるためか16時以降からの回答は大きく分散された。	
7. お子様の通学時に、どのようなことに不安を感じますか?	登下校時の不安として挙げられた中で最も多いのは「交通事故」で中学生45%、高校生46%であった。次いで最近頻発する事件の影響か「知らない人との接触」が中学生21%、高校生23%であった。意見としては街灯がないまたは少ないので暗くて心配が中高併せて11件と非常に多かった。	
8. 通学時に合わせた※公共交通システムがあれば、あなたは利用しますか(させますか)	交通システムの通学時利用は「毎日利用」が中学生15%、高校生12%と2割を満たない数値であったが、「時々」は中学生15%、高校生15% 「天候によっては」は中学生47%、高校生56%を加えると全体の8割が何らかの利用意向を示している。	
9. 利用する場合、利用料金は、どの程度が妥当だと思いますか?	交通システムの通学時利用料金は「100円程度」が7割強あり、低料金での利用を望む意向が強い、また定期券の様な場合でも3,000円以内との意向が9割強となった。またその他意見として学生は無料、JR定期代より高くつくので適当でないとの意見も寄せられた。	
10. あなたは冬期運行されていますか「元気号」を知っていますか	元気号を「知っている」は6割、「知らない」が4割であった。	
知っているとお答え頂いた方にお聞きします。あなたは(生徒は)利用したことがありますか	元気号を「利用したことがある」は0であった。理由として考えられることは村内中高生が利用しにくい運行となっていること、乗降地が限られていることと外国人の利用者が殆どであるための不安感、認知度が低いとの理由が考えられる。	
11. 公共交通システムについて意見・要望がありましたら、ご記入ください	公共交通システム自由意見として中学生アンケート結果から、学校の登下校に合わせた交通システムがほしいとの意見が21件、次いで冬季の間だけでも交通システムを要望する意見が13件、部活動に合わ	

第1回変更(案)		当初																					
い。	せた通学交通システム要望が7件となっている。高校生アンケートでは、すべて1件での意見であったが、通学用の交通システムを要望する意見が目立った。																						
P24	(3) 観光交通システム構築事業	P22	(3) 観光交通システム構築事業																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業主体</td> <td>白馬村 一般社団法人白馬村観光局</td> </tr> <tr> <td>運行主体</td> <td>一般乗合旅客自動車運送事業者 ・松本電気鉄道株式会社 ・川中島バス株式会社 ・有限会社白馬交通</td> </tr> <tr> <td>運賃の設定</td> <td>村内各地域1乗車200円とする。</td> </tr> <tr> <td>車両</td> <td>平成21年度において運行ルートに設定した村道の狭隘路線に対応できる車両とする。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	事業主体	白馬村 一般社団法人白馬村観光局	運行主体	一般乗合旅客自動車運送事業者 ・松本電気鉄道株式会社 ・川中島バス株式会社 ・有限会社白馬交通	運賃の設定	村内各地域1乗車200円とする。	車両	平成21年度において運行ルートに設定した村道の狭隘路線に対応できる車両とする。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業主体</td> <td>白馬村 有限中間責任法人白馬村観光局</td> </tr> <tr> <td>運行主体</td> <td>バス事業者</td> </tr> <tr> <td>運賃の設定</td> <td>村内各地域1乗車300円とする。</td> </tr> <tr> <td>車両</td> <td>平成20年度において運行ルートに設定した村道の狭隘路線に対応できる車両とする。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	事業主体	白馬村 有限中間責任法人白馬村観光局	運行主体	バス事業者	運賃の設定	村内各地域1乗車300円とする。	車両	平成20年度において運行ルートに設定した村道の狭隘路線に対応できる車両とする。
項目	内容																						
事業主体	白馬村 一般社団法人白馬村観光局																						
運行主体	一般乗合旅客自動車運送事業者 ・松本電気鉄道株式会社 ・川中島バス株式会社 ・有限会社白馬交通																						
運賃の設定	村内各地域1乗車200円とする。																						
車両	平成21年度において運行ルートに設定した村道の狭隘路線に対応できる車両とする。																						
項目	内容																						
事業主体	白馬村 有限中間責任法人白馬村観光局																						
運行主体	バス事業者																						
運賃の設定	村内各地域1乗車300円とする。																						
車両	平成20年度において運行ルートに設定した村道の狭隘路線に対応できる車両とする。																						
P26	<p>7. 白馬村地域公共交通会議の開催経緯 (5行目まで略)</p> <p>地域公共交通総合連携計画は、平成21年1月に協議を調えた「白馬村乗合タクシー」の運行計画を基本として、関連事業の計画を定めている。その後においては、関連事業に係る検討委員会の開催等により、運行計画を見直している。</p> <p>また、地域住民のニーズに対応した複合的な村内移動手段の確保を図るため、村内循環型シャトルバスの導入に向けた運行計画についても、関連事業として計画を進めている。</p>	P24	<p>7. 白馬村地域公共交通会議の開催経緯 (5行目まで略)</p> <p>地域公共交通総合連携計画は、平成21年1月に協議を調えた「白馬村乗合タクシー」の運行計画を基本として、関連事業の計画を定めている。</p>																				
P29	(2) 白馬村地域公共交通会議委員名簿 H22.2.10現在の委員名簿を掲載	P27	(2) 白馬村地域公共交通会議委員名簿																				